

「学内で地域医療の体験ができる」課外授業シリーズ 2026 第一弾！を実施しました。

2026年4月23日（木）18時00分から「学内で地域医療の体験ができる」課外授業シリーズ 2026 第一弾！を実施しました。

今回は、福井県初の在宅医療クリニック「オレンジホームケアクリニック」を開設された紅谷浩之先生をお招きし、医療・福祉をきっかけにした地域づくりを行い『「暮らしの中の医療」地域に根ざす実践から学ぶ』をテーマについてご講演いただきました。

当日は学部生16名、教職員6名の合計22名の参加がありました。

在宅医療で年間270人の看取りをされてきた現場での僻地医療についてお話いただきました。在宅医療では病気は治せないが、人生における幸福感を与えることができる医療を暮らしの中に求められていることや、病気と付き合いながら地域で暮らす住民の方の在宅医療の役割について教えていただきました。

また、少子高齢化が進む今後の医療について、医師、看護師に求められる医療モデル、社会モデルをそれぞれ具体的にご説明いただき、これから医師・看護師になる学生に対し、一度立ち止まってこれからの医療について考えてもらいたいとお話いただきました。

最後に、カフェとジムとクリニックを併設し、人と人とのつながりを大切にし、孤独にならないように工夫されている取り組みや、医療的ケア児の居場所作りなど、取り組んでこられた医療活動についてご紹介いただきました。

参加学生からは「高齢化など社会環境も変化していく中で、医療というもの自体も変化していく必要があるということ学んだ。患者は病院だけではなく、社会にも暮らされているので、医師は必ずしも病院にいる必要はないという考えは新しかった。」「地域に溶け込み地域の人々の笑顔を作っている紅谷先生の地域医療への思いが素晴らしく、地域医療についての理解がさらに深まったと感じた。」といった感想があり、本講演は盛況のうちに終了しました。



（この講演は 医学・看護学教育センター、滋賀県医師キャリアサポートセンター、NPO 法人 滋賀医療人育成協力機構との共催で実施しました）